

会 議 録

会 議 名	第53回野田市市民活動支援センター運営協議会
議題及び議題毎の公開又は非公開の別	<p>1 議案</p> <p>(1) 市民活動支援センター運営協議会の会長及び副会長の選任について（公開）</p> <p>(2) 令和6年度市民活動支援センターの事業実施計画（案）について（公開）</p> <p>(3) 「のだ市民活動ふれあいフェスティバル2024」第7回市民活動元気アップふえすたの開催計画（案）について（公開）</p> <p>2 報告事項</p> <p>(1) 令和5年度市民活動支援センターの登録状況（令和6年3月31日現在）について（公開）</p> <p>(2) 令和6年度市民活動支援センターの登録状況（令和6年4月1日現在）について（公開）</p> <p>(3) 令和5年度市民活動支援センターの利用状況（令和6年1月～3月）について（公開）</p> <p>(4) 第4回こまめカフェの開催結果について（公開）</p> <p>(5) 令和5年度市民活動支援センターの事業実施報告について（公開）</p> <p>(6)－1 令和6年度市民活動団体支援補助金について（公開）</p> <p>(6)－2 市民活動団体に関するアンケートの集計結果について（公開）</p>
日 時	令和6年4月24日（水）午後2時から午後4時まで
場 所	野田市役所議会棟4階 委員会室

出席者氏名	<p>会 長 竹澤 勇司 副 会 長 立山 喜弘 委 員 岩井 勝治、加藤 眞智子、芝田 栄太郎、 辻 朝子、名代 ちよ子、神山 憲次郎 事務局等 副市長 今村 繁 市民生活課長 須賀 良平 市民生活課長補佐 岡田 敦子 市民生活課コミュニティ係長 高梨 清美 市民生活課コミュニティ係主査 山田 典生 市民活動支援センター長 関口 一夫 主任コーディネーター 釜田 正雄 コーディネーター 荒井 ハツヨ コーディネーター 渡邊 勝男 コーディネーター 松本 貴美江 支援補助員 向佐 美知子</p>
欠席委員氏名	北倉 恵美子、矢作 勝美
傍 聴 者	3名
議 事	第53回野田市市民活動支援センター運営協議会の会議の概要は、次のとおりである。
<p>1 開会 事務局から開会を宣言。 会議の成立について報告。 会議録作成のため、録音をすることについて了解を得た。</p> <p>2 副市長挨拶 今村副市長挨拶</p> <p>3 自己紹介 各委員及び事務局職員の自己紹介を行った。</p> <p>4 議事</p>	

議案(1) 市民活動支援センター運営協議会の会長及び副会長の選任について

(資料 議案1))

高梨係長

委員改選後、初めての会議であり会長、副会長が不在のため、会長が決定するまで副市長に仮議長をお願いしたいと思うが、良いか各委員に問うた。

《異議無し⇒了承》

仮議長（今村副市長）

仮議長席に移動し、議案(1)について説明を求めた。

須賀課長

議案(1)「市民活動支援センター運営協議会の会長及び副会長の選任について」を説明した。

仮議長（今村副市長）

議案(1)について、まず会長を決定するため、選出方法について各委員に意見を求めた。

岩井委員

指名推選でお願いしたい。

仮議長（今村副市長）

他に意見はないかを問うた。

《異議無し》

仮議長（今村副市長）

どなたか推薦したい委員はいるかを問うた。

岩井委員

竹澤委員を推薦したい。

仮議長（今村副市長）

他に推薦したい委員はいるかを問うた。

《異議無し》

仮議長（今村副市長）

竹澤委員を会長に決定することについて問うた。

《異議無し⇒竹澤委員を会長に決定する。》

仮議長（今村副市長）

会長が決定したので仮議長を降りること、竹澤委員は会長席に移動して挨拶をすることをお願いした。

竹澤会長挨拶

ただ今御推薦いただきました竹澤でございます。力不足で大変恐縮ですが、努力させていただければと思っております。

市民活動支援センター運営協議会の会長として、引き続き関係者、委員の皆様への御指導、お知恵を賜ることになりました。現在、市民活動支援センターでは、様々な創意工夫、機能強化等を図り、事業の立案、実施を通し、市民活動の環境づくりに取り組み、毎年実りのある結果を確認でき、有り難く感じております。私たち市民活動支援センター運営協議会では、これまでの委員の皆様からの忌憚のない御意見が、野田市の市民活動の方向性に大きく寄与してきたものと考えております。委員の皆様には、会議においてこれまで同様に感じたことを素直に述べていただきたい。何でも話せる会議の雰囲気というのは、関係者の皆様のお力添えのおかげと有り難く感じているところでございます。

本日から、新しい委員の方々が加わりました。今後の運営協議会の更なる充実につながるものと確信しております。就任に際し、副市長、市民生活課職員の皆様、センター職員の皆様、委員の皆様どうぞよろしくお願いいたします。

高梨係長

野田市市民活動支援センター運営協議会設置要領第7条第1項の規定により「会長が議長になる」と定められているため、以降の議事進行を会長にお願いした。

議長（竹澤会長）

次に、副会長の選任を議題とし、委員の互選により選出するとあるが、いかがするかを各委員に問うた。

岩井委員

指名推選でお願いしたい。

議長（竹澤会長）

どなたか推薦したい委員はいるかを問うた。

岩井委員

立山委員を推薦したい。

議長（竹澤会長）

他に推薦したい委員はいるかを問うた。

《異議無し》

議長（竹澤会長）

立山委員を副会長に決定することについて問うた。

《異議無し⇒立山委員を副会長に決定する。》

議長（竹澤会長）

立山委員を副会長に決定したので、副会長席に移動し挨拶することをお願いした。

立山副会長挨拶

立山です。引き続きよろしくお願ひします。

議長（竹澤会長）

議案(2)の前に、報告事項から審議をすることについて了承を求めた。

各委員

特になし

報告事項(1) 令和5年度市民活動支援センターの登録状況について

(資料 報告 1) - 1 ~ 2)

報告事項(2) 令和6年度市民活動支援センターの登録状況（令和6年4月1日現在）について

(資料 報告 2) - 1 ~ 2)

議長（竹澤会長）

報告事項(1)、(2)について、説明を求めた。

向佐支援補助員

報告事項(1) 令和5年度市民活動支援センターの登録状況について、報告事項(2) 令和6年度市民活動支援センターの登録状況（令和6年4月1日現在）についてを説明した。

議長（竹澤会長）

報告事項(1)、(2)について、委員に意見を求めた。

芝田委員

3団体は登録をしないとの説明があったが、主な理由は何か。

向佐支援補助員

一つは子育て系のサークルが、会員の皆さんのお子さんが大きくなられたので、活動休止になる。あとは、NPO法人を立ち上げた団体があるが、その中に事業が統合される形になったため、登録更新しないというのが主な理由である。

議長（竹澤会長）

ほかに意見がないようなので、報告事項(1)、(2)については、以上とする。

報告事項(3) 令和5年度市民活動支援センターの利用状況（令和6年1月～3月）について

(資料 報告 3) - 1 ~ 3)

議長（竹澤会長）

報告事項(3)について、説明を求めた。

松本コーディネーター

報告事項(3) 令和5年度市民活動支援センターの利用状況（令和6年1月～3月）についてを説明した。

議長（竹澤会長）

報告事項(3)について、委員に意見を求めた。

辻委員

コロナが明けて、いよいよ活動が再開するとき、最も私たちが困るのが、打合せやイベントをするときの会場を設定することだが、8階の旧レストラン会議室は、以前はちょっとしたお子さん連れの会合などで利用させていただいたが、こちらの今後の見通しはどうなっているのか。

今村副市長

8階の旧レストラン会議室は、レストランを再開したいということで、今回は鎌田学園の生徒さんたちが運営していく形でレストランを再開したいと思っており、今、鎌田学園と協議をしている。

ただ、平成5年に開設してから30年以上も経過していること、平成28年度に閉鎖してから8年経過しているので、現在ある厨房器具を使うのが難しいということで、厨房を整備してからの再開となる。鎌田学園とは令和6、7年度で準備して、令和8年4月から再開するというので、これからどういう形での運営にするか協議を始めているところである。市としても、一つの魅力の発信拠点としても活用していきたいと思っている。

今年の6月議会に、設計委託料の補正予算を出させていただくことで準備を進めており、議決をいただければ設計をして、令和7年度に工事をして、令和8年度から再開という形を考えている。現在は、庁内の会議室で使っている。

辻委員

コロナで、イベントでの食事の提供がなかなかできなかったが、そういう楽しい場所という形で令和8年以降オープンしたら、工夫して市民にも時間帯を分けたりして、活動できる場所にしていただければと思っている。

議長（竹澤会長）

厨房器具が古いとの説明があったが、使えるようであれば使っていて結構だと思うが、どうか。

今村副市長

今の厨房器具だと、配管の問題もあるので、器具は一新しないといけないと思っている。鎌田学園はスイーツ甲子園でも二度優勝しているし、調理については自信を持っている。実際に運営していく上での課題は、食材費などが上がっているの、どのくらいの価格がいいのかなど、かなりたくさんあると思っている。あと、鎌田学園の実習の授業の一環として運営をするので、今のところ週3日の運営で、長期休暇中は少し難しいということで、それ以外の週末の土日を含んだ4日間をどうするのか。長期休暇中をどうするのか。今後、鎌田学園と話し合いをさせていただく形になっている。

立山副会長

報告事項(1)、(2)に戻るが、8ページと10ページの表を見ると、特に子どもの健全育成のところ令和6年度は団体数が減っているが、これは切替え時期ということか、それとも子どもたちが少なくなったということか。

釜田主任コーディネーター

報告事項(1)、(2)の報告と質疑が終わって、担当の職員が退室してしまったので、詳しいことはお答えできないが、まだ更新していない団体があるのが理由だと思うが、手元に詳しい資料がなく、申し訳ございません。

議長（竹澤会長）

ほかに意見がないようなので、報告事項(3)については、以上とする。

報告事項(4) 第4回こまめカフェの開催結果について

(資料 報告 4)

議長（竹澤会長）

報告事項(4)について、説明を求めた。

渡邊コーディネーター

報告事項(4) 第4回こまめカフェの開催についてを説明した。

議長（竹澤会長）

報告事項(4)について、委員に意見を求めた。

岩井委員

いろいろ忙しいと思うが、開催回数を増やすために努力していただければ有り難いと思う。回答は不要である。

議長（竹澤会長）

令和6年3月25日(月)に参加団体と一緒に振り返りの会を開催したとあるが、振り返りの会はどのような形で行ったのか。

渡邊コーディネーター

3月25日は、こまめカフェに参加された5団体のうち4団体が出席でき、今回のプログラムの内容について良かったところ、課題等をお伺いした。また、次回はこんなふうにと提案を頂いて、先ほど報告したように、開催回数を増やしていただきたいという御意見もあった。

議長(竹澤会長)

参加人数も増えているし、振り返りの会も来ていただいた方に印象に残るような取組をしていただいているのが、非常に有り難い。

こまめ「カフェ」なので、今回もコーヒーが出たのか。

渡邊コーディネーター

コーヒーはもちろん、紅茶、お茶、飲物に限定したが用意した。まず来場されたら、飲物でくつろいでいただいた。

議長(竹澤会長)

各自で好きなものを選ぶということによろしいか。

渡邊コーディネーター

はい。

辻委員

私もこまめカフェという名前がとてもいいなと思って、市民活動支援センターの皆さんが、まめまめしく新しくメンバーになる方への活動をサポートされていることが前々から楽しいと思っている。

新しくお母さんになった方は、いろいろな不安があると思うが、保健センターにお子さんの定期健診で必ずいらっしゃるので、そういうときにお母さんたち向けのサークルを抜粋して、市民活動支援センターからこんな活動している団体がありますよ、みたいな物を配布したり、ポスターを出しておく形を取られたりして、そこからこまめカフェへの勧誘とか、若いお母さんに向けたサークルとか、支援の必要なお子さんをお持ちのお母さんたち向けのこういう集まりがある、といったようなアプローチもあればいいのではないかと思う。

お母さんたち、市民の人たちが集まる、あるいは足を運ぶ場所に、市民活動支援センターのこういう活動があるよ、という物を置く。そういうことはもうやられているかもしれないが、こちらから出向いて、あるいは説明資料を置い

ておくのもいいな、とこまめカフェと合わせてそのように思った。

議長（竹澤会長）

辻委員のように地域の方に、ご意見をいろいろご提示していただけるということで、是非こまめカフェのいいところをアピールしていただければと思う。

神山委員

振り返りの会は、毎回やっているのか。それとも今回が初めてだったのか。

渡邊コーディネーター

振り返りの会は、今回初めてである。こまめカフェが始まってから、コロナでお休みもあったので、今回初めて、次に生かすにはどうしたらいいかということで、企画として始めた。

立山委員

こまめカフェは非常にいいなと思っていつも感心しているが、多分ボランティアをやる方も会社勤めが多くなって出られないという方が結構多いと思うが、反対に、若い人がどんなことをやっているのかということ进行交流できるような場にしてもらって、若い人も高齢者も関係なく一緒にやれるようなPRを、この場でやってもらえるといい。私たちのボランティアグループもお世話になって、おかげさまで会員が増えてきたので、皆さんに知らせる意味では大変重要な場所、機会である。1回、2回と言わず、3回、4回でもできればお願いしたいと思っている。

渡邊コーディネーター

岩井委員からも回答は不要との発言があったが、今年度は回数を1回から2回に増やすことで予定している。立山委員も言われたように、いろいろな年齢層が参加できる場を増やせればということで準備している。

議長（竹澤会長）

ほかに意見がないようなので、報告事項(4)については、以上とする。

報告事項(5) 令和5年度市民活動支援センターの事業実施報告について

(資料 報告 5) - 1~13)

議長（竹澤会長）

報告事項(5) 令和5年度市民活動支援センターの事業実施報告について、説明を求めた。

荒井コーディネーター

報告事項(5) 令和5年度市民活動支援センターの事業実施報告についてを説明した。

議長（竹澤会長）

報告事項(5) 令和5年度市民活動支援センターの事業実施報告について、委員に意見を求めた。

岩井委員

市民活動支援センター運営協議会に関わる前は、いろいろな団体がいろいろな活動に対する補助金制度を設けているとは知らなかった。市民活動支援センターの活躍で、これだけ市民の皆さんに貢献できている。本当に有り難いと思っている。

名代委員

私の知らない団体がたくさんあって、団体ごとに大変だなというのは分かるので、ありがとうございます。

議長（竹澤会長）

相談業務が900件から1,000件近くあり、確認してまとめていくのが大変だと思うが、手際よくやる方法があるのか。

釜田主任コーディネーター

相談業務の内容は、基本的には運営全般だが、主に資金の確保。団体の運営資金の確保という課題に対して対応する場合は、運営資金の確保だけでなく、その団体の設立目的、事業内容などの運営全般を洗い出しながら、課題を出す作業があって、それを長年にわたってやってきた成果があって、特に荒井コーディネーターは、団体の心をつかむのがうまいので、うまく課題を速やかに引き出している。ただ、団体の内容によっては時間がかかるところは確かにある。特に法人の会計等については、粘り強く何回も同じことを繰り返しながらやって、ようやく1歩、2歩というところである。

議長（竹澤会長）

団体が相談に来て、結果がうまくまとまらなかったとか、持ち帰りとか、また、団体からその後どうなったかみたいな問合せ等はあるか。

荒井コーディネーター

1回で解決することも多いが、特に法人の会計実務の相談は1回では終わらない。学習会はやるが、3年くらいかけてようやくアフターフォローができたかな、ということはある。そういう団体に一緒に付き合う、寄り添うのは、と

てもうれしいことである。

議長（竹澤会長）

特にNPO法人関係の講座や説明会に1回出て、分からなくなった、投げてしまったということになると、団体の方にしては何か進まないということになるので2回目、3回目と毎年開催していただいているので、団体の方々が理解してやってよかったなと思えるような取組を引き続きお願いしたい。

立山副会長

助成金の目的によって、市民活動支援センターからお願いしているのか、あるいは団体が自分たちで探しているのか。

荒井コーディネーター

助成金学習会を年に2回行っている中では、登録団体に合いそうな助成金や受けやすそうな助成金をリストアップして、皆さんに説明させていただいて、団体が何を必要としているのかという話を聞きながら、備品が必要な団体はここがいいかな、運営費が必要なところはここがいいかな、という話もしながら進めている。

立山副会長

令和6年度の申請金額は、採択金額と考えていいか。

荒井コーディネーター

資料の21ページの申請金額は、採択金額と考えていい。

加藤委員

市民活動支援センターのきめ細やかなフォローが、本当に御苦労だと思った。NPO法人の申請をするにしても、私も何回か県まで勉強に行ったが、自分たちでやることと遠くまで出かけていくというのは、一日がかりになるし非常に大変なことである。しかし、市民活動支援センターで身近でやっていただけるということは、団体にとってはすごく有り難いことだと思う。大変御苦労だと思うが、今後ともよろしくお願いしたい。

荒井コーディネーター

副市長の挨拶でも、最初はNPOボランティアサポートセンターでスタートしたと話していたが、私は最初から在籍しており、もう10年を過ぎている。

そのときは、まだセンター長の役割の職員がいなくて、コーディネーター3人が交代勤務しており、その頃から助成金学習会もやっていたが、いろいろな制度を整理したり統計を取ったりすることまではできなかった。センター長が

配属されて、助成金も市民活動支援センターの利用状況も統計を取って数字で示すことをやってくださるようになって、私たちがやってきたことが数字で見えるというのは、コーディネーターとしてうれしかったし、やりがいになる。長くやっている者としては、そういうことも必要だと感じている。

今は主任コーディネーターだが、NPOボランティアサポートセンターが設立して3年後くらいに釜田さんがセンター長として配属されてから、中身が変わったように感じている。

議長（竹澤会長）

平成24年9月頃だと思うが、市民活動支援センター運営協議会の1回目の会議が行われた。スタートしたばかりで、これからという段階だったので、会議資料もデータは今ほど多くなかったが、今の資料と比べても、その当ても中身は非常に濃いものだった。当時を少し分かっている人間からすると、段階を追ってここまで来たことは、市の御努力であるとよく耳にする。副市长も初めの頃から気にとどめていただいて、その都度いろいろ御指導いただいて、ここまで来たというのが実感である。

そういう歴史が少しずつつながり、結果が出てきている。市民活動支援センター運営協議会に対する御指導もしていただいているが、NPOボランティアサポートセンターが市民活動支援センターに変わって、これからもっと変化があるのかなと思わせていただけるような進歩の仕方をしていただいているので、無理のない程度にお力添えいただければ有り難いなと思っている。

ほかに意見がないようなので、報告事項(5)については、以上とする。

議案(2) 令和6年度市民活動支援センターの事業実施計画（案）について
（資料 議案 2）

議長（竹澤会長）

議案(2) 令和6年度市民活動支援センターの事業実施計画（案）について、説明を求めた。

関口支援センター長

議案(2) 令和6年度市民活動支援センターの事業実施計画（案）についてを説明した。

議長（竹澤会長）

議案(2) 令和6年度市民活動支援センターの事業実施計画（案）について、

委員に意見を求めた。

名代委員

こまめカフェの9月の開催は水曜日の平日でよろしいか。また、野田夏まつり躍り七夕の8月の日付が分かったら教えていただきたい。

関口支援センター長

こまめカフェの9月の開催は平日である。活動が平日の団体も多く、市民の方も平日に参加できる方に来てもらいたいという市民活動団体の意見もあったので、平日と日曜日に1回ずつ開催してみようということで今年は計画している。野田夏まつり躍り七夕の日程は、まだ聞いていないが、例年8月の第1週末のあたりなので、8月の年間予定に入れている。

立山副会長

協働のまちづくりは前から進めているようだが、恐らく市の職員の方々を中心にいろいろ問題の共有化等を図っていくのだろうと思うが、これから我々に働きかけるチャンスはあるのか。やっていることは分かるが、具体的にどうしているのか見えないので、その辺の進め方がどうなのか、と思ってお聞きしたい。

関口支援センター長

今回、職員向けセミナーを開催する予定だが、市民活動団体の方が協働のことは御理解いただいている状況もあって、連絡調整ということで随時、市との間を取り持ってやりたいと思っているが、市職員の方で理解しないといけないので、その土台作りで今年はやりたいと思っている。

今村副市長

市民との協働ということを行っているが、市のそれぞれの課は、自分から団体、市民の中に入っていく姿勢がまだ十分できていない部分があると思っている。本当の意味で市民との協働をするためには、まず職員の意識が非常に重要だと思っているので、このセミナーを契機にしていければと思っている。セミナーが終わってから、どんどんできるというようなそんなに簡単なことではないと思っているが、そうなっていければいいと思う。

立山副会長

野田市としてどんなところが不足、有利とか、そういうことも検討していくと思うし、県で進めていることとレベルを同じにするとか独自にやるとか、いろいろあると思うが、市の狙いはどこなのか。

今村副市長

県でやっていることをやるというよりは、市独自で市民とできることをそれぞれの担当課が考えて、市民と話してやっていくのが最終的に一番いい形だと思っているので、それに向けて職員が頑張っていかななくてはならないと思っている。

議長（竹澤会長）

市職員向け協働のまちづくりのセミナーがどういう内容だったのか、後ほど分かる範囲で拝見させていただければと思っている。

ほかに意見がないようであれば、令和6年度市民活動支援センターの事業実施計画（案）について承認いただけるか。

各委員

異議なし

議長（竹澤会長）

異議なしとのことなので、事業実施計画（案）のとおりとする。

議案(3) 「のだ市民活動ふれあいフェスティバル2024」第7回市民活動元気アップふえすたの開催計画（案）について

（資料 議案 3）－1～2）

議長（竹澤会長）

議案(3) 「のだ市民活動ふれあいフェスティバル2024」第7回市民活動元気アップふえすたの開催計画（案）について、説明を求めた。

釜田主任コーディネーター

議案(3) 「のだ市民活動ふれあいフェスティバル2024」第7回市民活動元気アップふえすたの開催計画（案）についてを説明した。

議長（竹澤会長）

議案(3) 「のだ市民活動ふれあいフェスティバル2024」第7回市民活動元気アップふえすたの開催計画（案）について、委員に意見を求めた。

辻委員

市民活動団体の皆さんがすごく張り合いを持ってやるすばらしいイベントだと思って、毎回私たちも参加させていただいている。今回も、スタンプラリーや、お客様が満遍なく会場を回る工夫をしていることも分かった。

昨年度参加して私が思ったのは、全体としてはすごく活気があるが、一般市

民の方が入ってきたときに、例えば自分が求めているこういう活動に興味があるというときに、それが分かりやすいような会場配置であったり、当日の資料で各場所の説明があると、ぐるぐる回っている間に時間がなくなってしまうことがなく、スムーズに目的の場所に到達できるのではないか。お子さん連れの方たちのブース、健康に関して、自分がボランティアを何かするとき、というふうな目的別のブース割りみたいな工夫ができれば、より一般市民の方の参加の目線からすると分かりやすいかな、という気がした。

釜田主任コーディネーター

三つのイベントの同時開催ということで、いろいろ制限はあるが、活動のテーマ別、例えばお子さん、環境とか、できる範囲で会場の配置は考えていきたいと思う。制限のある中で配置を考えていくとともに、昨年御迷惑をかけた和室の会場の使いにくさというのもあったので、その辺も配慮しながら、今年度は参加団体の打合せ会議の中で、いろいろ皆さんと話を進めていきたいと思うので、御協力をお願いしたい。

辻委員

毎年チラシを頂くが、是非予算があればカラー刷りにしていただくと、よりブースが見やすくなるし、特に初めて会場に足を踏み入れる方が少し迷路のようになってしまうので、是非予算を講じてカラー版にするといいのではないかな。

釜田主任コーディネーター

前回のアンケートでもそういう御意見を頂いたが、予算の関係もあって市民活動元気アップふえすたを単独でやっていたときにはそれなりの形ができたが、予算がある中でも色上質紙を使ったり、イラストを入れたりしているのだが、掲載する項目が目一杯である。どこの団体が、どこで、何を、何時から何時までやっているのか分かるように、という御要望も頂いており、なかなか難しい中でも、いろいろ工夫して考えていきたい。ただ、今年度については申し訳ないが、三つのイベントの内容が一緒のチラシについては、統一したイベントとしてのA3の両面色上質紙での作成を考えているので、御理解いただきたい。

今村副市長

確かにこういう形よりはカラーの方が見やすい。費用対効果の効果があるのであれば、当然財政が厳しい折ではあるが、この程度のことはできると思うの

で、要望していただければと思う。

議長（竹澤会長）

最終的には予算の都合になるかもしれないので、その辺も頭に入れておいていただければ有り難いと思う。

岩井委員

昨年、参加できていないので分からないが、過去にそれぞれの会場が独立してしまっていて、人がいないところがある現実があったので、中央公民館と野田ガスホールの中の通路に人の流れを作る工夫ができないか、という意見を申し上げた。

釜田主任コーディネーター

中央公民館の玄関先から野田ガスホールの手前までの通路に、市民ふれあいハートまつりに参加している団体の販売用のテントを配置して、誘導する形を取った。もう一つの工夫として、今までは中央公民館の一階で市民活動元気アップふえすたの事務局が承っていたスタンプラリーの記念品交換所を、今回は野田ガスホールへの誘導策として野田ガスホールへ移動し、記念品交換所を目指すために通路を楽しみながらということ考えている。

立山副会長

スタンプラリーのことで、今回は10箇所と数が増えたということと、見てから体験してからということ、若干人の流れが停滞した感じもしたが、景品はみんな一緒の物か。それとも抽選に当たったらどこかのブースでもらえるという形だったか。

釜田主任コーディネーター

スタンプラリーの景品は、市民活動元気アップふえすた自体が、ちば県民活動PR月間賛同行事として開催するというので、クリアファイル、シールなどのチーバくんグッズがある。スタンプラリーに参加した条件を満たした人には全て同じ物を差し上げるということで計画しており、今年度もそのような形にしたいと思う。ただ、景品が少ないという御意見もあったので、できるだけ他に配れる物があればということ、いろいろなところに働きかけながら増やしていきたいと考えている。

立山副会長

景品が少し寂しいというのが一つあるのと、もう一つは景品の中でも当たりくじがあつて、どこかのブースに行けばこれがもらえるよということを作つて

も面白いのではないか、という提案である。そうすれば、また少し興味を持って回っていただけるのかなと思う。

議長（竹澤会長）

ほかに意見がないようであれば、「のだ市民活動ふれあいフェスティバル2024」第7回市民活動元気アップふえすたの開催計画（案）について承認いただけるか。

各委員

異議なし

議長（竹澤会長）

異議なしとのことなので、開催計画（案）のとおりとする。

報告事項(6)－1 令和6年度市民活動団体支援補助金について

報告事項(6)－2 市民活動団体に関するアンケートの集計結果について

(資料 報告 6)－1、6)－2－1～2))

議長（竹澤会長）

報告事項(6)－1 令和6年度市民活動団体支援補助金について、報告事項(6)－2 市民活動団体に関するアンケートの集計結果について、説明を求めた。

須賀課長

報告事項(6)－1 令和6年度市民活動団体支援補助金について、報告事項(6)－2 市民活動団体に関するアンケートの集計結果についてを説明した。

議長（竹澤会長）

報告事項(6)－1 令和6年度市民活動団体支援補助金について、報告事項(6)－2 市民活動団体に関するアンケートの集計結果について、委員に意見を求めた。

神山委員

初めて市民活動支援センター運営協議会に参加させていただいて、市民活動支援センターの方も非常に頑張っていると感じるし、市民活動団体支援補助金の申請等も、いろいろ御協力、サポートしていただいて、非常に助かっていると思うし、市民活動支援センターの方の準備が大変だろうということを再認識した。私も、より良い方向にやっていくことを考えて発言したいと思う。

名代委員

市民活動団体の活動内容、活動の幅がどんなものか分からずにアンケートの集計結果が出てしまっているのです、少し分かりにくい。

例えば、この団体はこんな活動をしているが、不要、必要なところが団体によって違うと思う。もしアンケートの集計結果をもらうなら、団体が書いたものをそのままコピーしていただくと、理解しやすい。全体で集計されていても、どの団体がどんなふうに足りないか、というのが分からない。是非アンケートの結果は抜粋なしでいただけたらうれしいと思う。

高梨係長

アンケートの皆様のご意見は、皆様から回答いただいたものをほぼ原文のまま記載している。どちらの団体かということであれば、アンケートを提出いただくときに、団体名の確認をしている。

名代委員

団体の活動内容は、私たちは分からない。だから困ったこと、これからのことを書くだけではなく、現状がこうなので、その後の課題、アンケートに対してということなので、市民生活課やコーディネーターの方は、団体の中を分かっているからアンケートの回答が心に響くと思うが、私たちは講師が欲しいと言われても、どんな講師が欲しいのかという形になってしまうので、わからない。

須賀課長

今回、いろいろな団体がある中で統一したアンケートを送付するに当たり、質問事項は我々が知りたいことを盛り込まなくてはいけなかった関係で、質問をどういう表現にするかとか、回答をどう頂くかというのも大変難しいところもあった。今後同じようなことをやる際には、団体に応じて内容を変えるなど、難しいかもしれないが、検討させていただきたい。

名代委員

半分は納得したが、こちらはどうかアンケートを書けばいいのか、といつも悩んでいる。これに対しての根本的な基礎が分かっていないので、それでお答えくださいと言われても、漠然とした答えしか書けない。それを言っている。

議長（竹澤会長）

考え方として、一つ一つの団体に全て返答するというのも、非常に時間、手間がかかるので、NPOの活動分野みたいな形で区切りをつけ、記載していただけて集約していただく。いろいろな面から時間をかけていただけて結構だと

思うので、検討していただければいいのかなと思う。行政もそのことだけの仕事をやっているわけではないので、そこを御理解いただいて、名代委員には要望ということで了解していただければ有り難い。

岩井委員

アンケートの集計結果に目を通したが、前回の市民活動支援センター運営協議会で、この内容でアンケートをやりたいという段階で拝見させていただいて意見を申し上げたかったと思うが、会員数を増やす、役員を改選することでの成功体験を知れたらよかったと思っている。そういう質問もあるが、もう少し具体的に私のところではこの方法で役員改選をしている、などが知れたらよかったと思う。

私はもう10年も前だが自治会長をやっているときに、ある自治会長さんから役員の期間を短くする話を伺った。例えば、会計をやった人が次に会長をやって、会長は一期でいきます、という話を聞いたことがある。

成功体験を聞いて、具体的にしたらいいかと思う。

議長（竹澤会長）

アンケートを出したので、結果の集計は次の市民活動支援センター運営協議会にすぐに出さなければいけないとか、余り急いでいただかなくて結構だと思う。時間をかけてじっくり取り組んでいただいて、いろいろな報告をしていただければと思う。

ほかに意見がないようなので、報告事項(6)については、以上とする。

議長（竹澤会長）

ほかに意見がないようなので、報告事項(6)については、以上とする。

高梨係長

次回の市民活動支援センター運営協議会の日程について、令和6年8月8日（木）午後2時から、低層棟の委員会室を会場に予定している。議題は、野田市市民活動団体支援補助金審査委員の推薦について、令和6年度野田市市民活動団体支援補助金について、などを予定している。

議長（竹澤会長）

会議の閉会を宣言した。